

授業科目

視覚機能評価学

担当教員名 前田 史篤、谷 佳子	対象学年	3	対象学科	視機
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	○

授業の概要

臨床場面における検査データの評価について学ぶ。眼科検査における疾患別の検査データの評価への応用を模倣する。

授業の目的

模擬症例から考えられる問題点と目標設定、検査および訓練プログラムの立案について理解することを目的とする。

学習目標

1. POS と POMR が理解できる。
2. 主訴から必要な検査を計画できる。
3. 提示されたデータを正しく読み取ることができる。
4. 与えられた課題をケースレポートにまとめることができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ガイダンス レポートのまとめ方	講義	前田 史篤
2-4	白内障術前検査	講義	谷 佳子
5-7	眼内レンズ度数計算	演習	谷 佳子
8-10	弱視症例	講義	前田 史篤
11-13	斜視症例	講義	前田 史篤
14	ケースレポート	講義	前田 史篤
15	まとめ	講義	前田 史篤、谷 佳子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	視能学 第2版	丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子 (編)	文光堂	2011年	18,000円+税	
参考書						
その他の資料						

評価方法

定期試験 60%
提出物 40%

履修上の留意点

再試験・追試験は原則1回のみ実施する。
締切を過ぎたレポートは原則受け取らない。

オフィスアワー・連絡先

毎週水曜日のお昼休み
P310
fumiatsu-maeda@nuhw.ac.jp